

運営推進会議記録

※記録公表用の参考 様式

開催 日時	平成 28 年 6 月 22 日 (水) 18 時 00 分 ~ 19 時 00 分	場 所	株式会社グッドライフケア大阪 大阪支店会議室
参加者	福高医院院長、きむ医療連携クリニック医師、看護師、北区地域包括支援センター介護支援専門員、北区大淀地域包括支援センター社会福祉士、北区オレンジチーム 2 名、プラス訪問看護ステーション 看護師 1 名、グッドライフケア 24 大阪 訪問介護員 2 名、グッドライフケア居宅介護支援センター 介護支援専門員 1 名、グッドライフケア大阪北 サービス提供責任者 1 名、グッドライフケア訪問看護ステーション大阪看護師 1 名、理学療法士 1 名、グッドライフケア福祉用具 1 名 計 15 名		
○3 月～6 月現在の利用者数等の報告。 ○サービスの普及にむけての勉強会の報告。 ○事例 1 例の報告			
活動内容等の評価 ・昨年末から利用者数が増加しており、サービスの認知度もサービス提供範囲内で向上している。 ・勉強会などの依頼も来るようになった。 ・利用者の数が増加しているため介護度や随時対応の時間帯などをデータとして示す事が出来るようになった。 ・事例 1 件 (当日配布の別紙)			
要望・助言内容 事例に関して ・認知症初期集中チームから定期巡回随時対応型訪問介護看護に繋がられた。認知症で独居の方に定期巡回サービスを利用して状態の改善が図れる事がわかったし、このような方にこそ向いているサービスではないかと思う。 ・決まりきった内容や時間ではなく必要な内容で時間の調節が現場の判断で出来るためご利用様のニーズに適時対応が出来た。 ・認知症の方に関わる際は本人様の意思をどのように尊重していくかが問題になる。 ・状態の変化に応じたサービスの変化など導入だけではなくモニタリングを適時行うことが必要になってくるのではないかと。 その他 ・認知症初期集中支援チームから 介護サービスや医療サービスなどが関わっていない認知症の方に対して介入していくため今後も連携していきたい。 ・在宅と病院との連携に関して (プラス訪問看護ステーション管理者より) 訪問看護ステーション協会として病院へ在宅の現状を伝える活動をしている。在宅と病院との連携も今後図れる可能性が広がってくる。 しっかりと在宅側からもアピールしていく必要がある。			
事業所名	グッドライフケア 24 大阪	記録作成者	平成 28 年 6 月 22 日 田邊 聡史

※ 原則として会議開催後 2 ヶ月以内にこの記録を作成・公表すること